

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【公開番号】特開2010-183189(P2010-183189A)

【公開日】平成22年8月19日(2010.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2010-033

【出願番号】特願2009-22961(P2009-22961)

【国際特許分類】

H 04 N 5/765 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

H 04 N 5/907 (2006.01)

H 04 N 5/91 (2006.01)

H 04 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/91 L

H 04 N 5/225 F

H 04 N 5/907 B

H 04 N 5/91 J

H 04 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月27日(2012.1.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

通信機能を有しない第1の記憶媒体と、着脱可能であり、通信機能を有する第2の記憶媒体とにアクセスが可能な電子機器であって、

画像データを入力する入力手段と、

前記画像データの記憶先の記憶媒体を指定する指定手段と、

前記画像データの記憶先として前記第1の記憶媒体が指定され、前記第2の記憶媒体が記憶先として指定されていない場合であっても、当該画像データを前記第1の記憶媒体に記憶するとともに、当該画像データを前記第2の記憶媒体にコピーし、前記画像データが前記第2の記憶媒体が有する通信機能により外部機器に送信されるよう制御する制御手段と、を有することを特徴とする電子機器。

【請求項2】

前記画像データの記憶先が前記第1の記憶媒体に指定されている場合であって、前記第2の記憶媒体の記憶容量が当該画像データのデータ量に満たない場合に警告を通知する通知手段を更に有することを特徴とする請求項1に記載の電子機器。

【請求項3】

前記制御手段は、前記画像データの記憶先が前記第1の記憶媒体に指定されている場合、前記第2の記憶媒体の記憶容量が当該画像データのデータ量に満たない場合、前記第2の記憶媒体に既に記憶されているデータを前記電子機器に内蔵された記憶媒体に移動することを特徴とする請求項1に記載の電子機器。

【請求項4】

前記制御手段は、前記画像データの記憶先が前記第1の記憶媒体に指定されている場合

、前記第2の記憶媒体の記憶容量が当該画像データのデータ量に満たない場合、前記第2の記憶媒体に記憶されているデータを前記第1の記憶媒体に移動することを特徴とする請求項1に記載の電子機器。

【請求項5】

前記制御手段は、前記第2の記憶媒体にコピーされた画像データが前記外部機器へ送信された後、前記第2の記憶媒体から前記第1の記憶媒体に移動したデータを当該第2の記憶媒体に戻すよう制御することを特徴とする請求項4に記載の電子機器。

【請求項6】

前記第1の記憶媒体から前記外部機器に送信する全ての画像データの容量分だけ、前記第2の記憶媒体に記憶されているデータを前記電子機器に内蔵された記憶媒体又は前記第1の記憶媒体に移動することを特徴とする請求項3乃至5のいずれか1項に記載の電子機器。

【請求項7】

前記第1の記憶媒体から前記外部機器に送信する1つの画像データの容量分だけ、前記第2の記憶媒体に記憶されているデータを前記電子機器に内蔵された記憶媒体又は前記第1の記憶媒体に移動することを特徴とする請求項3乃至5のいずれか1項に記載の電子機器。

【請求項8】

前記制御手段は、前記第2の記憶媒体にコピーされた画像データが前記外部機器へ送信された後、前記第2の記憶媒体から前記第1の記憶媒体又は前記電子機器に内蔵された記憶媒体に移動した全てのデータを前記第2の記憶媒体に戻すよう制御することを特徴とする請求項3又は4に記載の電子機器。

【請求項9】

前記制御手段は、前記第2の記憶媒体にコピーされた画像データが前記外部機器へ送信された後、前記第2の記憶媒体から前記第1の記憶媒体又は前記電子機器に内蔵された記憶媒体に移動した1つのデータを前記第2の記憶媒体に戻すよう制御することを特徴とする請求項3又は4に記載の電子機器。

【請求項10】

被写体像を光電変換して画像データを生成する撮影手段を更に有し、

前記制御手段は、前記第2の記憶媒体に記憶されているデータを移動中に、前記撮影手段による撮影が実行された場合、当該データの移動を中断するよう制御することを特徴とする請求項3乃至9のいずれか1項に記載の電子機器。

【請求項11】

通信機能を有しない第1の記憶媒体と、着脱可能であり、通信機能を有する第2の記憶媒体とにアクセスが可能な電子機器の制御方法であって、

画像データを入力する入力工程と、

前記画像データの記憶先の記憶媒体を指定する指定工程と、

前記画像データの記憶先として前記第1の記憶媒体が指定され、前記第2の記憶媒体が記憶先として指定されていない場合であっても、当該画像データを前記第1の記憶媒体に記憶するとともに、当該画像データを前記第2の記憶媒体にコピーし、前記画像データが前記第2の記憶媒体が有する通信機能により外部機器に送信されるよう制御する制御工程と、を有することを特徴とする制御方法。

【請求項12】

請求項11に記載の制御方法を電子機器のコンピュータに実行させるためのプログラム。
。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

上記課題を解決し、目的を達成するために、本発明の電子機器は、通信機能を有しない第1の記憶媒体と、着脱可能であり、通信機能を有する第2の記憶媒体とにアクセスが可能な電子機器であって、画像データを入力する入力手段と、前記画像データの記憶先の記憶媒体を指定する指定手段と、前記画像データの記憶先として前記第1の記憶媒体が指定され、前記第2の記憶媒体が記憶先として指定されていない場合であっても、当該画像データを前記第1の記憶媒体に記憶するとともに、当該画像データを前記第2の記憶媒体にコピーし、前記画像データが前記第2の記憶媒体が有する通信機能により外部機器に送信されるよう制御する制御手段と、を有する。